



肝胆膵がん、肝炎の治療

先生方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

当院は肝疾患診療連携拠点病院として肝がん撲滅に向けた取組や胆膵がんの治療に力を入れています。

(1) 肝がん治療

従来のラジオ波焼灼療法に加えて**次世代マイクロ波焼灼療法**を導入し、積極的に局所治療を行なっています。進行肝がんに対する**免疫チェックポイント阻害剤**を含んだ**複合免疫療法**（**デュルバルマブ/トレメリマブ**、アテゾリズマブ/ベバシズマブ）や分子標的薬による治療にも力を入れています。また、免疫チェックポイント阻害剤による治験も行なっています。

(2) 胆膵がん治療

胆道がんに対する免疫チェックポイント阻害剤を含んだ**デュルバルマブ/ゲムシタビン/シスプラチン**、膵がんに対するゲムシタビン/ナブパクリタキセル、FOLFIRINOXによる治療を行なっています。

(3) B型、C型慢性肝炎・肝硬変の治療

B型肝炎に対してはエンテカビル、テノホビルによる安全性の高い核酸アナログ治療、C型肝炎に対しては直接作用型抗ウイルス剤(DAA)であるソホスブビル/ベルパタスビル、グレカプレビル/ピブレンタスビルによる治療を行なっています（いずれも肝炎医療費助成制度が利用できます）。

ご紹介ください

肝胆膵内科では幅広く肝・胆・膵疾患に対する最新治療を
専門医が提供し、“診療連携の活性化”を目指しております！
下記の症例の患者さんがおられましたら、ご紹介ください。

- ◆ 肝炎全般(B型、C型、自己免疫性、非アルコール性脂肪肝など)
- ◆ 肝硬変・門脈圧亢進症の診断と治療、アンチトロンビン III による門脈血栓症の治療、トルバパタンによる腹水治療、ルストロンボパグによる血小板減少症の改善など
- ◆ 肝がんの集学的治療(ラジオ波・マイクロ波焼灼療法、肝動脈化学塞栓療法(TACE)、デュルバルマブ/トレメリマブ **New!**、アテゾリズマブ/ベバシズマブ、ソラフェニブ、レゴラフェニブ、レンバチニブ、ラムシルマブ、カボザンチニブなど)
- ◆ 胆道がんの抗がん剤治療(デュルバルマブ/ゲムシタビン/シスプラチン **New!**、S1 など)
- ◆ 膵がんの抗がん剤治療(ゲムシタビン/ナブパクリタキセル、FOLFIRINOX、S1、ナノリボソーム型イリノテカン併用 5-FU/ロイコボリンなど)

※ がん遺伝子パネル検査も適宜行っています **New!**



大阪公立大学医学部附属病院 <http://www.hosp.omu.ac.jp>

〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号 ☎ (06) 6645-2121(代表)

初診受付：午前9時～午前10時30分 休診日：土・日・祝日・年末年始

*肝胆膵内科では紹介状を持参の上、受付時間内にお越しいただきましたら当日、診察いたします。

*他科では完全予約制の場合もございますので御確認下さい。

肝胆膵内科 診療科部長 河田則文